

第三次葉山町総合計画 後期基本計画の推進状況

平成 26 年 3 月

目次

第1章 検証の目的・趣旨	1
第2章 後期基本計画主要施策の検証	1
基本目標 青い海と緑の丘のある美しいまち	1
施策の大綱1 緑豊かな居住環境をつくる	1
施策の方向性(1) 緑の保全	1
施策の方向性(2) 市街地の整備	2
施策の方向性(3) 公園・緑地の整備	2
施策の方向性(4) 道路の整備	3
施策の方向性(5) 河川・橋りょうの整備	3
施策の大綱2 環境に配慮したまちをつくる	4
施策の方向性(1) 海・海岸・川の保全	4
施策の方向性(2) 下水道の整備	4
施策の方向性(3) 廃棄物の処理・再資源化の推進	5
施策の方向性(4) 公害の防止	5
施策の方向性(5) 地球温暖化対策・省エネルギーの推進	6
基本目標 文化をはぐくむうるおい、ふれあいのまち	7
施策の大綱1 資源を生かし地域の活性化を図る	7
施策の方向性(1) 地域資源を生かした生活文化の継承と創造	7
施策の方向性(2) 国際交流の推進	7
施策の方向性(3) 姉妹都市交流	8
施策の方向性(4) 湘南国際村の活用	8
施策の大綱2 豊かな心を創造する	9
施策の方向性(1) 生涯学習を支援する基盤の整備	9
施策の方向性(2) 豊かな自己実現力(生きる力)をはぐくむ学校教育の推進	10
施策の方向性(3) 幼児教育、青少年健全育成の推進	11
施策の方向性(4) 芸術・地域文化の振興	11
施策の方向性(5) 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	12
施策の方向性(6) 人権意識の高揚、男女共同参画社会の実現	13
施策の大綱3 活力ある産業をつくる	14
施策の方向性(1) 農業の振興	14
施策の方向性(2) 漁業の振興	15
施策の方向性(3) マリンレジャー産業の振興	15
施策の方向性(4) 観光資源の発掘とネットワーク化	16

施策の方向性（５） 商業の振興.....	16
施策の方向性（６） ニュービジネスの創出.....	17
基本目標 安全で安心して暮らせるまち	18
施策の大綱 1. うれいのある生活と安心して子育てができるまちをつくる.....	18
施策の方向性（１） 地域福祉の充実.....	18
施策の方向性（２） 児童・子育て家庭の福祉の充実.....	18
施策の方向性（３） 高齢者福祉の充実.....	19
施策の方向性（４） 障害者（児）福祉の充実.....	20
施策の方向性（５） 所得保障の充実.....	21
施策の方向性（６） 住宅の充実.....	21
施策の大綱 2. いきいきと誰もが健康に暮らすことのできるまちをつくる.....	22
施策の方向性（１） 地域保健活動の充実.....	22
施策の方向性（２） 地域医療の充実.....	23
施策の方向性（３） 国民健康保険・後期高齢者（長寿）医療の充実.....	23
施策の方向性（４） 火葬場・墓地の整備.....	24
施策の大綱 3. 災害に強く安全なまちをつくる.....	25
施策の方向性（１） 消防・救急体制の確立.....	25
施策の方向性（２） 防災体制の確立.....	26
施策の方向性（３） 交通安全対策の確立.....	27
施策の方向性（４） 防犯体制の確立.....	27
施策の方向性（５） 消費生活の安全の確立.....	27
基本目標 住民が参加する自治のまち	28
施策の大綱 1. コミュニティをつくる.....	28
施策の方向性（１） 地域活動の活発化と連携の促進.....	28
施策の方向性（２） 平和の推進.....	28
施策の大綱 2. 町民と行政の協力関係をつくる.....	29
施策の方向性（１） 広報・広聴活動の充実.....	29
施策の方向性（２） 情報公開の推進.....	29
施策の方向性（３） 町民参加・参画の推進.....	30
施策の大綱 3. 効率的な行財政運営を図る.....	31
施策の方向性（１） 行政組織の簡素化・効率化と人材育成.....	31
施策の方向性（２） 健全な財政運営の推進.....	31
施策の方向性（３） 地域連携を図った行政運営の推進.....	32
施策の方向性（４） 地方分権の推進.....	32
第3章 成果指標の検証	33

第1章 検証の目的・趣旨

葉山町では、平成26年度に、第三次葉山町総合計画の計画期間が終了します。このため、後期基本計画の施策項目ごとに、各課の施策の推進状況の調査を実施しました。

本報告書は、この調査内容をもとに計画の推進状況を検証し、第四次葉山町総合計画策定の基礎資料として活用を図るために作成するものです。

第2章 後期基本計画主要施策の検証

基本目標 青い海と緑の丘のある美しいまち

施策の大綱 1. 緑豊かな居住環境をつくる

施策の方向性 (1) 緑の保全

検証の総括

町の良好な緑を将来にわたって保全していくために、環境基本計画や緑の基本計画などに基づき、以下のような主要施策を推進し、おおむね計画どおり推進できました。

次期計画では、平成27年度に緑の基本計画を改訂し、二子山地区の緑地の恒久的な保全方策など、新たな施策体系を構築していくことが求められます。

主要施策の推進状況

(○ は実施、 △ は未実施・一部実施)

主要施策	推進状況
環境基本計画及び緑の基本計画の推進	緑地保全奨励金、枯れ松防除補助金、いけがき設置助成制度等の運用や、町内ボランティア団体との協働による竹林整備などを通じ、緑の保全に努めてきた。 アダプトプログラム（公共空間の緑を住民が「里親」として管理）の導入をめざしたが未実施である。
ふるさと葉山みどり基金の活用	基金を財源とした緑地管理を推進した。
緑の保全	生態系への影響などが懸念されるアライグマやタイワンリスなど外来生物の捕獲を実施。被害は減少している。
緑の活用	三浦半島への国営公園誘致は、神奈川県、横須賀市、逗子市、三浦市と連携し期成同盟会の構成員として国に要望活動を行っているが、実現には至っていない。

施策の方向性（２） 市街地の整備

検証の総括

平成 14 年に制定した葉山町まちづくり条例に基づき住民と協働で良好な都市環境づくりを進めており、着実な成果が得られています。また、近年は、平成 17 年 7 月に景観法による景観行政団体(平成 25 年 3 月現在で 575 市町村)となり、平成 22 年に葉山町景観計画を策定し、景観法に基づく諸施策を推進しています。

町では、平成 27 年度に都市計画マスタープランの改訂を予定しており、次期計画では、市街化調整区域の市街化区域への編入など、長年の懸案事項について、社会状況等の変化を踏まえ再度検討していくことが必要となります。

主要施策の推進状況

(は実施、 は未実施・一部実施)

主要施策	推進状況
新しい市街地の形成	葉山都市計画区域分の見直し(第7回線引き見直し)については、平成 28 年中の都市計画決定が予定されているが、新しい市街地の検討対象としてあげている区域について、市街化調整区域の市街化区域への編入は、見込めない状況である。
地区計画・建築協定の推進	町では、平成 14 年に制定した葉山町まちづくり条例に基づく地域まちづくり推進協議会を支援する形での地区計画や建築協定の推進に取り組んでいる。こうした住民主体による土地利用制限については、当該区域の住民の合意形成を図ることが大変難しく、地区計画等の決定には至らないケースが多い。
まちづくり条例の適正な運用	まちづくり条例の主旨に則り、開発行為時の公共施設整備の誘導などの取り組みを進めている。まちづくり条例については、運用等の課題について、他団体の事例研究を進めていく。
景観整備の推進	平成 22 年に策定した葉山町景観計画に基づき、景観法に基づく行為の届出制度による誘導を図っている。また、平成 26 年度中に、良好な景観形成に影響が大きい屋外広告物についてのガイドラインの策定を予定している。

施策の方向性（３） 公園・緑地の整備

検証の総括

公園・緑地の適切な維持管理と施設修繕に取り組み、おおむね計画どおり推進できました。

次期計画では、指定管理者制度の導入の検討や老朽化が進む設備の整備、使用料の見直し、駐車場の有料化などが検討事項であります。

主要施策の推進状況

(は実施、 は未実施・一部実施)

主要施策	推進状況
地域のニーズにあった公園の管理運営・整備	<p>しおさい公園は、減少傾向にある来園者を増やすため、維持管理の徹底及び無料開放日のイベント開催など新たな試みを行った。</p> <p>南郷上ノ山公園ドッグヤードの申請受付を定期から随時に変更し、利便を図った。</p> <p>一部の公園の維持管理について、町内会等と維持管理協定を締結し、町民との協働により行った。</p> <p>計画的に老朽化した遊具の入替を行った。</p> <p>現計画にある「新たな公園のあり方の検討」は未実施。指定管理者制度の導入の検討や老朽化が進む設備の整備、使用料の見直し、駐車場の有料化などが検討事項である。</p>

施策の方向性（４） 道路の整備

検証の総括

新桜山トンネルが供用開始され、逗子駅と葉山町主要部とを結ぶ道路環境を改善しました。また、生活道路の整備も随時進めてきました。

次期計画では、三浦半島中央道路の整備促進が求められるほか、バスベイなど、道路環境の改善も引き続き課題であります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
骨格道路体系の整備	<p>県道 217 号逗子葉山横須賀線（三浦半島中央道路）は、葉山町長柄から上山口間が平成 16 年に供用開始され、逗子市桜山から葉山町長柄の区間と、横須賀市湘南国際村 1 丁目から横須賀市山科台の区間において、県により、事業実施に向けた各種調査が実施されている。</p> <p>平成 13 年から整備着手されてきた県道 311 号鎌倉葉山線の新桜山トンネルが平成 22 年 9 月に供用開始され、平成 24 年 3 月には桜山トンネルをあわせ上下線分離通行が実現した。これにより歩道の幅員が 90 c m から 2.5m に広がり、歩行者、自転車の安全性も向上した。</p> <p>「木古庭・上山口・下山口地区の骨格となる道路の整備」は未実施である。</p> <p>都市計画道路の見直し方針について、平成 26 年 3 月策定に向け検討を進めている。</p>
生活道路（町道）の整備	<p>イトーピア団地内の歩道修繕工事等、整備箇所ごとに高齢者や障害者の利用に配慮した改良を行った。</p>
道路環境の整備	<p>県道 311 号鎌倉葉山線のバスベイ及び歩道の整備工事を実施した。補修等の維持管理を随時行った。</p>

施策の方向性（５） 河川・橋りょうの整備

検証の総括

全国的に、老朽橋りょうの改良が政策課題となっており、町においても、橋りょう長寿命化修繕計画を策定しました。

次期計画では、当計画に基づく修繕整備の推進が求められます。

また、河川の整備工事も引き続き推進していく必要があります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
河川の整備	<p>町管理の河川の整備工事を実施した。</p>
橋りょうの整備	<p>橋りょうの点検調査を行い、それを踏まえ橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。</p>

施策の大綱 2 .環境に配慮したまちをつくる

施策の方向性（ 1 ） 海・海岸・川の保全

検証の総括

河川や海岸の清掃活動、合併処理浄化槽設置及び維持管理の補助、河川水質検査、河川水生生物調査などに取り組み、おおむね計画どおり推進できました。緑の保全とあわせ、次期計画でも一層の推進が求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
環境基本計画の推進	河川や海岸の清掃活動、合併処理浄化槽設置及び維持管理の補助、河川水質検査、河川水生生物調査などを推進している。
河川水質の浄化	森戸川 6 箇所・下山川 5 箇所、その他小河川 1 2 箇所の水質検査を実施した。年々、水質の改善も見られてきている。また、河川水生生物調査も実施している。
海岸の保全と美化	海岸清掃イベント「クリーン葉山」を年 1 回実施しているほか、ゴミの持ち帰りの呼びかけ、海岸に放置されたボート等の撤去、海岸の公衆トイレの塗装塗り替えなどを実施した。

施策の方向性（ 2 ） 下水道の整備

検証の総括

年次計画に基づき整備し、水洗化率の目標もおおむね達成できました。また、維持管理も効率的に進めてきました

次期計画では、整備拡充に伴う施設の更新及び建設、長寿命化計画の策定、公営企業会計の導入などが課題であります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
下水道の整備	年次計画に基づき整備するとともに、供用開始区域内の未接続者に対し、ポスティング等による普及活動を積極的に実施し、水洗化率は 84.7%（平成 22 年度）から 87.8%（平成 24 年度）に上昇した。
適切な維持管理	葉山浄化センター、中継ポンプ場等の効率的な維持管理に努めた。また、町民の下水道への理解を深めるため、積極的に広報、啓発活動を実施した。

施策の方向性（３） 廃棄物の処理・再資源化の推進

検証の総括

戸別収集にむけた取り組みなど、減量化を推進し、一人あたりの収集可燃ごみ量の減少やリサイクル率の向上などに結びついています。

次期計画では、近隣自治体とのパートナーシップによるごみ処理や焼却炉の廃炉に向けた取り組みが課題となっています。また、汲取り便槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換についても、継続的な啓発活動が必要になります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
ごみの適正処理	戸別収集にむけた取り組みの拡大や、生ごみ処理容器の普及などにより、住民一人あたりの収集可燃ごみ量は、平成23年度の505g/日から平成24年度には436g/日に、リサイクル率は平成23年度の31.9%から平成24年度の36.1%に好転している。平成26年6月から全町での戸別収集を実施する予定である。 民間委託により一般廃棄物処理を行っており、近隣自治体とのパートナーシップによるごみ処理や焼却炉の廃炉に向けた取り組みについては、次期計画への積み残し事項である。
生活排水の適正処理	汲取り便槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する補助を行い、生活排水の直接の河川放流を防ぎ、河川の水質汚濁防止を図った。し尿・浄化槽汚泥の処理については、平成26年度より下水道投入を実施する。
污水处理施設の維持管理	施設の老朽化が進んでいるため、それに対応した修繕を実施した。
不法投棄防止対策の実施	県との合同による定期的なパトロールや、不法投棄防止の看板等の配布、設置を行った。

施策の方向性（４） 公害の防止

検証の総括

公害防止の取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。「アイドリングストップ運動」や「ノーカーデー」は実践できませんでしたが、これらは、「施策の方向性（５） 地球温暖化対策・省エネルギーの推進」にある施策も含め、町としての実施のメリット・デメリットを検討の上、必要な施策を次期計画に改めて描いていく必要があります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
大気汚染、水質汚濁の防止	公害を未然に防止していくことが重要であり、事業者に対しては、排煙や排水について事前に県と協力して指導した。 計画に掲げた「アイドリングストップ運動」や「ノーカーデー」は実践できなかった。
騒音等の防止	工事現場での解体作業などに伴う騒音、振動の苦情が何件か寄せられたが、事業者に対し住民とのトラブルにならないよう指導した。

施策の方向性（５） 地球温暖化対策・省エネルギーの推進

検証の総括

近年は、ＬＥＤ化と太陽光発電を柱に、地球温暖化対策・省エネルギーの推進に取り組み、おおむね計画どおり推進できました。

福島第一原子力発電所事故を受けた計画停電なども経験する中、次期計画では、自然エネルギーの利用に関して、さらなる具体的な施策構築が求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
省エネルギー施設の整備の検討	街路灯や施設照明のＬＥＤへの切り換えを進めた。
省エネルギーの啓発	夏季の「クールビズ」の推進及び昼休み時間中の消灯に努めた。
地球温暖化対策・省エネルギーの推進	自然エネルギー利用の普及促進と、温室効果ガスの排出削減を目的として、住宅用太陽光発電システム設置費用の一部補助を継続実施した。

基本目標 文化をはぐくむうるおい、ふれあいのまち

施策の大綱 1. 資源を生かし地域の活性化を図る

施策の方向性 (1) 地域資源を生かした生活文化の継承と創造

検証の総括

町民活動団体と行政との協働の取り組みとして、各小学校への授業協力や各中学校での体験学習などを行いました。

しかし、「生活文化の継承と創造」は非常に大きく抽象的な概念であり、町民の共通認識を図りつつ、わかりやすい概念のもと、継続しやすい取り組みを次期計画で立案していくことが求められます。

主要施策の推進状況

(〇 は実施、 × は未実施・一部実施)

主要施策	推進状況
地域資源の保全・活用を通じた葉山生活文化の継承と創造	町民活動団体と行政との協働の取り組みとして、各小学校への授業協力や各中学校での体験学習（町民活動団体との体験学習を通して生徒が町の良いところを実感しつつ、町への愛着心の芽を育む）などに取り組んだ。

施策の方向性 (2) 国際交流の推進

検証の総括

町民の外国人との交流、在住外国人への町政情報の提供は、おおむね計画どおり推進できました。しかし、ホールドファストベイ市との交流は休止している状況にあります。

次期計画では、ホールドファストベイ市との交流について、国際姉妹都市締結 20 周年の節目の年である平成 29 年度に可能な施策を検討することが求められるほか、総務省の「地域における多文化共生推進プラン（平成 18 年 3 月）」などを受け、多文化共生施策について、一層の検討を進めていくことが求められます。

主要施策の推進状況

(〇 は実施、 × は未実施・一部実施)

主要施策	推進状況
国際交流活動の展開	平成 25 年度より、町内の小中学校を対象に出張外国文化紹介講座を実施している。平成 26 年度も継続実施予定である。 国際姉妹都市であるホールドファストベイ市との交流が、双方の予算等の事情により休止している。
外国語における情報提供	「葉山のくらし」(英語版)を活用し、生活に関わる情報提供を行っている。

施策の方向性（３） 姉妹都市交流

検証の総括

草津町との交流はおおむね計画どおり推進できました。しかし、住民情報記録磁気テープの交換など、事業の必要性が低くなってきているなど、課題も生じていることから、交流効果が高い施策・事業を再構築していくことが求められます。

また、姉妹都市のみならず、有縁都市との交流を積極的に進める方策を描いていくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
定期的な親善交流の推進	葉山町文化協会による草津町文化祭への作品出品、町内在住・在勤者への草津町提携宿泊施設宿泊費の一部助成、草津温泉旅館協同組合作成のリーフレットの配架などを実施した。
交流分野の拡大	住民情報記録磁気テープの交換は、草津町側が町ヘデータ保管を依頼しておらず、一方向のみのやり取りとなっている。町の電算システムが変わったことにより他所でバックアップデータ管理が可能となったことから、あり方を見直す必要がある。 新たな交流分野の拡大は行えなかった。

施策の方向性（４） 湘南国際村の活用

検証の総括

湘南国際村BC地区の緑の再生と保全など、関係する取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。

湘南国際村は、町の経済、文化など多方面に寄与する機能を有しているため、今後とも有機的な連携を図っていくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
地域のまちづくりの推進	湘南国際村BC地区について、年2回の植樹祭の開催など、関係機関や活動団体等との「協働」により、緑の再生と保全の取り組みが進められた。
湘南国際村事業等の活用の推進	町は湘南国際村事業発信強化委員会の構成員として、湘南国際村フェスティバルへの後援、湘南国際村各機関が開催する研修会、講習会などの周知、「広報はやま」平成25年5月号での「湘南国際村特集」など、湘南国際村協会、横須賀市、県などとともに湘南国際村のPR活動を行った。

施策の大綱 2 .豊かな心を創造する

施策の方向性（ 1 ） 生涯学習を支援する基盤の整備

検証の総括

「はやま市民活動ガイドブック」を活用した学習情報の提供、体育協会・文化協会や大学等と連携した学習機会の創出など、関連する取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。

生涯学習施策は、住民と行政が協働して取り組むことが重要であり、次期計画では、協働の観点を重視して、将来にわたる施策・事業の方向性を描いていくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
生涯学習情報の提供の充実	平成 25 年度から、個々に作成していた市民活動ガイドブック・ボランティアガイドブックを葉山町社会福祉協議会及び NPO 法人葉山まちづくり協会と連携し、「はやま市民活動ガイドブック」として内容の充実を図るとともに一本化を行った。
生涯学習施設の整備充実	町の生涯学習施設は、福祉文化会館、図書館、しおさい博物館などがあるが、公民館機能は図書館 2 階部分が主体で他市町のような充実した公民館がないため、公民館活動は学校の余裕教室を有効活用している。現在、耐震補強工事を要する上山口小学校旧校舎の活用が課題となっている。
学習支援者の養成と活躍の場づくり	学習支援者（指導者）や団体の登録制度を実施し、人材活用につなげている。
生涯学習の推進体制の充実	平成 24 年度から、公民館教室及びスポーツ体験講座の各講座内容等について、体育協会・文化協会との連携により行うことを基本としている。また、町民大学等では、関東学院大学の協力を得て実施している。

施策の方向性（２） 豊かな自己実現力（生きる力）をはぐくむ学校教育の推進

検証の総括

学校教育については、教育内容、施設整備ともに、おおむね計画どおり推進できました。中学校給食については、現在、検討委員会で検討中です。

次期計画においては、この間、取り組みが進んだ学校・家庭・地域の連携施策や、特別支援教育の取り組みの一層の充実が求められるほか、児童・生徒の安全対策の充実が求められます。また、いじめ防止対策推進法が平成 25 年 9 月に施行されたことから、心理の専門家の参加による防止対策など、これまで以上の取り組みを掲げていくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
教育内容の充実	<p>学習指導要領に基づき、各教職員の創意・工夫のもと、教育活動を実施した。教育研究所にて、地域の方々の協力の下、郷土の歴史や文化、自然に関する教員対象の研修会を開催した。また、小中連携のための児童向け講座を開催した。</p> <p>人権教育や特別支援教育について、内容充実を図るための担当者会議及び研修会を行った。</p> <p>国際教育や情報教育、自然教育について、内容充実を図るための研究会を実施した。</p>
指導体制の充実	<p>授業及び小中学校連携の充実のため、町費教員を各学校へ派遣した。</p> <p>スクールカウンセラーや心の教室相談員の派遣を行い、相談体制の充実に努めた。</p>
特別支援教育の充実	<p>各学校では、個別指導計画に基づくとともに、支援委員会により学校全体体制で、支援教育の充実に努めた。</p> <p>各学校へ介助員を派遣し、きめ細やかな教育を推進した。</p> <p>発達支援システムによる学校教育課、福祉課、子ども育成課等の連携も定着してきている。</p>
児童・生徒の健康づくりの推進	<p>体育、運動会・体育祭、運動部活動、特別活動等を通して体力の維持・向上を図った。</p> <p>各学校では、食育指導の全体計画をたて家庭科、保健体育、特別活動の時間を中心として、児童・生徒の健康教育に取り組んだ。</p> <p>中学校給食拡大検討委員会を開催し、葉山にふさわしい中学校昼食について検討している。</p> <p>食育担当者会議を開催し、栄養教諭との連携を図った。</p>
開かれた学校づくりの推進	<p>各学校では、特徴ある学校づくり事業などにより、地域住民の参加・協力のもと、稲作体験、昔遊び体験など地域の特性を生かした様々な体験活動を行った。</p>
学校教育施設等の整備	<p>平成 24 年度に、上山口小廊下改修、長柄小トイレ改修、一色小下水道接続、葉山中グラウンド改修を、平成 25 年度に、小中学校の空調設備設置工事の設計、葉山小・長柄小・一色小トイレ改修、長柄小遊具設置を行った。平成 26 年度は、小学校の空調設備設置工事等を行う。</p> <p>一時余裕教室については、少人数授業の実施などに活用した。また、各学校の体育館、グラウンド、一時余裕教室等を町民による生涯学習の活動に貸し出した。</p>

施策の方向性（３） 幼児教育、青少年健全育成の推進

検証の総括

幼児教育については、幼稚園就園奨励費補助、幼稚園運営費補助など、おおむね計画どおり推進できました。平成 27 年 4 月から子ども・子育て支援新制度の施行が予定されており、私立幼稚園は同制度に基づく施設型給付による運営か、従来の私学助成等による運営となるが、前者は市町村が制度の実施主体となるため、適切な制度運営を図る旨を計画に位置づけていくことが求められます。

また、青少年教育、青少年健全育成についても、おおむね計画どおり推進できました。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
幼児教育の推進	町内在住の園児の保護者に対して、保育料減免のため幼稚園就園奨励費補助金を、町民税額等に応じて交付した。 町内幼稚園に対して、教材費や備品、施設整備費等に充当する幼稚園運営費補助金を交付した。平成 25 年度には 1 人当たりの補助単価を大幅に引き上げた。 保育所や幼稚園等と小学校の連携として、卒園前の幼稚園児の就学予定先小学校への訪問活動を実施した。また、保育園、幼稚園児が小学校授業に参加する機会も設けた。
青少年教育の社会参加の促進	ボランティア活動や子ども会等の活性化に係る社会参画の促進については、ジュニアリーダーズクラブを中心に行っている。
健全な社会環境づくり	青少年問題協議会による「あいさつ運動」、青少年指導員による地域の見守りなどを実施している。

施策の方向性（４） 芸術・地域文化の振興

検証の総括

文化・芸術団体への支援、文化財の保存などの取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。次期計画では、生涯学習の施策と同様に、協働のあり方をより明確に描いていくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
芸術文化活動の振興	福祉文化会館で、音楽・芸能等の公演を開催。また、文化・芸術団体・サークルへの貸館も実施した。 町主催により葉山町所蔵美術展を毎年開催。平成 24 年度から、開催場所を従来の図書館に加え、しおさい博物館にも拡大した。 しおさい博物館・県立近代美術館・山口蓬春記念館 3 館連携の見学会を実施した。 実行委員会方式により、葉山芸術祭を毎年開催した。 地域最大の集客力を持つ「どんど焼き」をアートイベントと連動させた「一色海岸アート展」が一色町内会・一色商店会の主催で開催した。
団体・サークルの育成	団体・サークルの育成のために、活動場所の提供や、「はやま市民活動ガイドブック」による情報発信の支援を行っている。

文化財の保存と活用	<p>文化財の所有者・管理者に対し、管理奨励金を交付している。</p> <p>国史跡長柄桜山古墳群については、基本計画に従い、第1号墳修景整備を実施した。</p> <p>しおさい博物館で天然記念物の保全保護活動や教育実習等を実施した。</p> <p>町指定文化財について、「文化財めぐり」などの啓発活動を実施した。</p>
-----------	---

施策の方向性（５） 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進

検証の総括

体育協会と連携した各種スポーツ体験講座、団体・サークル等の育成、施設の修繕などの取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。オープン参加型スポーツ体験会「スポーツオープンデー」など新たな取り組みも開始しています。

次期計画では、2020年に東京オリンピック開催を控える中、住民のスポーツの機運を盛り上げていく施策が期待されます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実	<p>野球場、テニスコート、多目的グラウンドなどを有する南郷上ノ山公園を町民のスポーツ・レクリエーション施設として管理運営するほか、学校体育施設開放要綱に従い開放。各施設の経常的な修繕等を実施した。</p>
生涯スポーツ活動の機会と情報提供	<p>機会の提供については、体育協会と連携し、各種スポーツ体験講座を開催した。また、スポーツ推進委員（旧体育指導委員）によるオープン参加型スポーツ体験会「スポーツオープンデー」を平成24年度から開催している。</p>
スポーツ・レクリエーション団体・サークル等の育成と支援	<p>体育協会加盟団体からの推薦によりスポーツ推進委員（旧体育指導委員）を委嘱し、団体・サークル等の育成につなげている。</p>
スポーツ指導者の養成・研修・活用	<p>スポーツ推進委員による研修会を行っている。</p>
ニュースポーツの普及・啓発	<p>町として特定のニュースポーツを振興する取り組みは行っていないが、サークル単位で活発に活動されている。</p>

施策の方向性（６） 人権意識の高揚、男女共同参画社会の実現

検証の総括

人権尊重、男女共同参画の取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。

次期計画では、DV防止基本計画の策定や、子どもの権利条約の批准、障害者虐待防止法の制定など、近年の社会動向に対応した施策・事業を位置づけていくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
人権意識の高揚	町民サービス課と生涯学習課の共催による「人権を考える集い」等を開催した。
男女共同参画社会の促進	第2次男女共同参画プランに基づき、男女共同参画講演会や、DV被害者等の支援を行った。平成26年度に第3次男女共同参画プランを策定する予定である。

施策の大綱 3 .活力ある産業をつくる

施策の方向性（ 1 ） 農業の振興

検証の総括

町の農業は3畜産農家による葉山牛と30戸ほどの販売農家、100戸超の自給的農家による路地野菜、果樹、米などの生産が主になります。葉山牛は、高い肥育技術を確立し、ブランドとして認知され、枝肉価格は一定水準を保っていますが、子牛と飼料の価格高騰で農家の収入は減少している状況にあります。野菜等を生産している農家は、いずれも小規模であり、直売や加工などで付加価値をつけ、都市近郊農業としての地位を保っています。

町では、よこすか葉山農業協同組合などと連携しながら、ブランド化や販売支援などの取り組みを進めており、おおむね計画どおり推進できました。

次期計画では、これまでの取り組みを継続・拡大するとともに、商業関係者と連携し、特産物の開発、販路の確保等を検討する必要があります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
特産品の開発	よこすか葉山農業協同組合を指定管理者として、朝市、農産物加工所の維持管理を実施した。 朝市や観光事業等で販売されているジャムや漬物は評価が上がり、販売価格を250円から300円にすることが出来た。また、従前より特産品であったコンニャクは原料の芋が計画的栽培に成功しつつあり、増産の可能性がある。新たに、販売単価の高い自然薯の試験栽培も始まっている。 葉山町商工会からも要望のある、加工用の生姜の増産の取り組みも支援している。 加工品製造を目指している新規就農者もある状況である。
地産地消の推進	ブランド化のための活動や葉山野菜シールを作成している「葉山野菜の会」を支援している。 学校給食での地場産物の利用に努めている。 地場農産物と朝市のPRのため「農産物品評会」「親子料理教室」を開催した。 朝市はあるが、常設の直売所がない状況。そのため、葉山町商工会が南郷地区に施設整備を計画している。
畜産業の振興	畜産農家団体へ補助金等を支出し、支援している。 優秀な葉山牛を生産した農家に葉山町長賞を贈呈している。 「親子料理教室」で町民に、観光事業で町外者、観光客に葉山牛と飲食店のPRをした。 牛糞堆肥の利用を地域の農家や町民にPRしている。 BSE、放射能対策の国等からの情報の収集及び提供に努めた。
町民農園の推進	上山口町民農園（77区画）と木古庭町民農園（30区画）を運営している。木古庭町民農園は空きが目立つため、平成25年度から、同一区画の連続使用を可能とし、利用拡大に努めている。

施策の方向性（２） 漁業の振興

検証の総括

町の漁業は、約 40 の経営体がいわし類、海藻類、貝類などを中心に漁獲しています。町では、葉山町漁業協同組合などと連携しながら、漁業振興を図っており、取り組みはおおむね計画どおり推進できました。

次期計画においても、稚魚や稚貝の放流を通じた作り育てる漁業の推進や、地元葉山鐙摺港での朝市や真名瀬漁港での魚の販売などの促進などを推進していく必要があります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
漁港の適切な維持管理	葉山町漁業協同組合を真名瀬漁港の指定管理者とし、漁港設備の維持管理を行った。 葉山灯台については、年 4 回の保守点検に加え、平成 25 年度には、投光部の修理等を行った。塗装修繕工事については未実施である。
資源増殖への支援	葉山町漁業協同組合に対し補助金を交付し、同組合が行う種苗放流事業や漁場底質改良事業を支援した。また、平成 25 年度はそれに加え、海に親しむイベントの中で、葉山の子どもたちによる稚魚放流を行った。 密漁防止対策として、葉山町漁業協同組合に補助金を支出しているほか、県、警察と合同でパトロールを行った。
都市住民との交流の推進	葉山みなとまちづくり協議会等の関係機関が実施する朝市等の海産物の販売など漁業振興につながるイベントを支援している。

施策の方向性（３） マリンレジャー産業の振興

検証の総括

各種マリンレジャー行事への支援、葉山「海・浜のルール」の周知などに努めてきました。個人的な趣味で行うもの、小規模な事業所が行うもの、イベントとして行うものなど、マリンレジャーの多様化が進み、町の産業振興施策としての一貫性は十分でない状況にあります。葉山「海・浜のルール」で対応できない新たなトラブルも生じてきており、海岸全体の利用方法について、関係者、関係機関と町が連携して計画やルール作りを進める必要があります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
マリンレジャーの拠点づくりへの支援	森戸、一色、長者ヶ崎・大浜海岸の 3 浜を海水浴場として開設し、各海水浴場にライフセーバーを配置し安全で快適な海水浴場の確保に努めた。また、トライアスロン、オープンウォータースイム等の行事を後援し、マリンレジャー振興に努めた。
自己救命策の確保の推進	うき・ウキーはやま推進協議会の活動が休止状態であるため、パンフレット、看板等による啓発活動にとどまった。
葉山「海・浜のルール」の啓発	葉山「海・浜のルール」の周知のため、パンフレットの配架、看板の管理等を行った。海水浴場開設期間においては監視所からの放送やライフセーバーによる声かけ等により、ルールの周知、マナーの向上を図った。

施策の方向性（４） 観光資源の発掘とネットワーク化

検証の総括

観光PR、観光施設の整備など、計画した取り組みは、おおむね推進できました。

次期計画では、南郷地区の交流拠点の整備をめざすほか、各観光施設の老朽化が進み、維持管理コストが増加している中で、協働の視点を取り入れた維持管理手法の確立が課題となります。また、東京オリンピックの誘致が決まり、海外からの観光客の増加も予想される中、多言語による案内や看板、多様な交通手段の確保等の観光インフラを整備する必要があります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
観光PRの推進	葉山町観光協会の活動支援、観光雑誌等へ記事や写真の提供、イベント等でのパンフレットの配布、町のホームページでの観光情報発信などを行った。 町のホームページは平成25年度から施設・季節ごとに検索が可能な「花ごよみ情報」を掲載するとともに、フェイスブックの活用も開始した。
散歩道などの整備	公衆トイレ、真名瀬駐車場等の観光施設の維持管理、仙元山ハイキングコースの案内板設置や草刈等の整備を行った。
美化意識の向上	海岸美化清掃やゴミの持ち帰りの啓発等を行った。特にバーベキューゴミに関し、横須賀三浦地区の市町、神奈川県、神奈川県警等により構成される浜辺のマナーアップ推進会議において、活動内容を検討した。
多様な魅力の連携	近隣市、関係事業者等で構成された三浦半島観光連絡協議会を中心に一体となって観光PRを行った。 葉山町商工会による南郷地区の交流拠点の整備を目指す活動を支援した。

施策の方向性（５） 商業の振興

検証の総括

葉山町商工会などと連携し、商業振興を図りました。計画した取り組みは、おおむね推進できました。次期計画においても、観光との連携など、町の特性を生かした商業振興施策を位置づけていく必要があります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
魅力ある商店街の形成	町内業者の経営指導や各種相談業務を行う葉山町商工会の活動を支援した。
観光客の誘致	三浦半島観光連絡協議会において、ツアー企画会社を対象に町をPRするモニタリングツアーを行った。
葉山ブランドの創出	町、葉山町商工会、東京家政学院大学等によって構成される産学連携事業実行委員会において、葉山の食材を活かした特産品の開発研究を行った。 各種イベントにおいて、夏みかんワイン、サイダー等の販売を行い、地元特産品のPRに努めているが、かながわブランドに指定されている葉山牛に続くブランド産品が脆弱な状況である。
イベントへの支援	地域商業の活性化のため、葉山町商工会と共催で各種イベントを実施した。

施策の方向性（ 6 ） ニュービジネスの創出

検証の総括

SOHO の誘致については、手法の検討を行ったものの有効な手段を見出すことができませんでした。ニュービジネスの創出は、地域の振興策として、引き続き検討していくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
ニュービジネス支援策の検討	起業支援を行う葉山町商工会を支援した。SOHO の誘致について、手法の検討を行ったものの有効な手段が見出せなかった。

基本目標 安全で安心して暮らせるまち

施策の大綱 1. うるおいのある生活と安心して子育てができるまちをつくる

施策の方向性（1） 地域福祉の充実

検証の総括

平成 24 年度に葉山町地域福祉計画を策定し、葉山町社会福祉協議会の地域福祉活動計画とも連携しながら、計画に基づく取り組みを推進しているところです。

次期計画では、生涯学習・生涯スポーツ、コミュニティ振興、地域福祉などが連携した、町における将来的な協働のあり方を明確化していくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
地域福祉推進体制の強化	葉山町地域福祉計画を平成 24 年度に策定し、同計画の推進に取り組んでいる。また、葉山町社会福祉協議会の小地域福祉活動推進委員会委員として、同協議会が作成する活動計画の推進・評価に参画した。
地域福祉活動への参加促進	葉山町社会福祉協議会と連携し、生きがいミニデイサービスなどの地域福祉活動を推進した。
保健・医療・福祉の連携強化	葉山町保健福祉サービス推進委員会、地域自立支援協議会（障害）、地域ケア会議（高齢者）を開催し、サービス提供について検証・検討するとともに、関係機関相互の連携・調整を図った。

施策の方向性（2） 児童・子育て家庭の福祉の充実

検証の総括

小児医療費助成の対象の小学校 6 年生までへの拡大など、施策の充実が図られました。児童館の老朽施設の修繕には取り組めていません。

平成 27 年度から「子ども子育て支援新制度」がスタートすることを受け、新制度に対応した施策を構築していくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
子育て支援サービスの充実	子育て支援センターの子育て相談や一時預かりなどの子育て支援の充実を図った。 子どもたちが楽しく利用できる地域の遊び場としての児童館を運営している。老朽施設の修繕が取り組めていない。 乳幼児のいる家庭に保健師などが家庭訪問を行い、養育支援を実施した。 特別な支援を要する児者を支援するため発達支援システムにより乳幼児期からの一貫した支援体制を強化した。 平成 27 年度からの「子ども子育て支援新制度」への移行準備を進めている。
児童の健全育成の推進	小児医療費助成を小学校 6 年生までに拡大した。 親育ち支援プログラムの導入により、親が学ぶ機会の充実を図った。 子ども自身に対して、ふれあい体験講座・思春期保健講演会等を実施し、先々の子育てを考える場とした。

ひとり親家庭等への対策の充実	ひとり親家庭等に対するサービスの情報等を、子ども育成課窓口に掲載するなど、周知に努めた。また、関係機関と密接に連携を図った。
----------------	--

施策の方向性（３） 高齢者福祉の充実

検証の総括

介護保険事業計画・高齢者福祉計画に基づき、各種高齢者支援施策に取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。

平成 27 年度から、軽度要介護認定者が特別養護老人ホームの入所ができなくなるなど、介護保険制度の改正が予定されているため、こうした制度改正を踏まえた取り組みも求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
高齢者の健康の維持・増進	<p>保健センターで実施する各種健康増進教室や健康相談のほか、行政出張サービスとして地域の高齢者団体を対象とした健康教室や、老人会主催の健康福祉祭りの企画・開催の支援を行った。</p> <p>地域支援事業（介護予防事業）は、従来の二次高齢者を対象にした口腔機能向上・低栄養改善教室に加え、一次高齢者や高齢者を介護している家族を対象とし、口腔・栄養・運動をセットにした「老いによる機能低下予防」全般についての教室を開催した。</p>
要支援・要介護高齢者に対する適切な支援	<p>介護保険事務を運営するにあたり、予算の適正な執行を行うとともに、介護保険料徴収強化に努めた。</p>
在宅高齢者に対する介護予防サービスの充実	<p>全身若返り教室、元気はつらつ教室、認知症予防講演会などの介護予防サービスを継続実施している。</p>
施設サービスの拡充	<p>施設を新たに整備するのではなく、既存の町内施設に対し葉山町民優先入所を要望し、特養・老健施設の町民入所率は若干の改善が見られた。</p> <p>平成 25 年度には町で初の小規模多機能型居宅介護事業所が整備された。</p>
高齢者の社会参加の促進	<p>高齢者相互や世代間交流を促進するため、老人クラブをはじめ高齢者団体等の育成・支援を行った。</p>
保健福祉環境の整備	<p>葉山町保健福祉サービス推進委員会や地域ケア会議を開催し、保健・医療・福祉関係機関の情報交換を推進し、連携体制の強化を図った。</p>

施策の方向性（４） 障害者（児）福祉の充実

検証の総括

障害者基本法に基づく障害者計画、障害者総合支援法に基づく障害福祉計画に沿って、おおむね計画どおり推進できました。

障害のある人が自分らしく安心して地域で暮らすためには、障害福祉サービスを始めとするさまざまな支援策が必要ですが、障害者数が年々増加してニーズも多様化する一方、障害福祉サービスを提供するための財源及び地域資源（人的資源、物的資源）の確保は大きな課題であります。町では、関係者及び関係機関から構成する「葉山町自立支援協議会」を設置し、これらの課題の解決に向けた協議・検討を重ねており、今後もその発展・拡充が求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
障害の予防・早期発見・早期対応体制の整備充実	<p>「葉山町自立支援協議会」において、地域生活を支えるためのネットワークの構築及び支援体制の整備を図るため、相談支援ネットワーク委員会と地域生活支援ネットワーク委員会の２つの委員会で協議や具体的な取り組みを行っている。</p> <p>乳幼児健診等において支援の必要な乳幼児の把握と早期支援を実施した。（子ども育成課）</p> <p>障害のある児童生徒の教育環境整備に向け就学相談や障害児就学支援委員会を開催している。（学校教育課）</p> <p>特別な支援を要する人を支援するため、「発達支援システム会議」において、一貫した相談・支援体制の整備と計画的な支援を図るため、協議や具体的な取り組みを行っている</p>
地域での自立生活支援の充実	<p>精神障害者を対象に日中活動の場を提供し、生活上の相談を受ける NPO 法人に対する支援を行い、サービスの充実を図った。</p> <p>障害福祉サービスの利用者数又は利用時間数は、当事者や家族の高齢化、制度上の対象者の見直し等の要因により増加傾向にある。ただし、グループホーム等の社会資源は増えていない。</p> <p>タクシー券支給事業、通所交通費支給事業等の在宅生活を支えるサービスは、利用状況やニーズを把握しながら支給対象の見直しや利便性の向上を図った。</p>
雇用と就労支援の充実	<p>就労援助機関であるハローワークや障害者就業・生活支援センターと連携を図りながら、町で非常勤職員４名の障害者雇用を進めた。</p> <p>障害者の就労の機会を創出するため、高齢者施策の配食サービス事業や庁舎売店の運営を町内の就労継続支援 B 型事業所に委託している。</p> <p>障害者雇用を促進するため、雇用報奨金支給事業の対象を拡大した。</p>
ともに学びともに育つ地域づくり	<p>地域交流を進めるため、25年に葉山町障害児者運動会の主催を、葉山町から実行委員会へと移行した。また、運営において、民生委員や地元中学生等の地域ボランティア等に協力を広げ、地域交流の機会を創出した。</p> <p>「こころのバリアフリー」を推進するため、庁舎内でのパネル展示、中学校の夏休み体験学習等を実施した。</p>
安心して暮らせる住みよいまちづくり	<p>東日本大震災を契機にオストメイト対応トイレを設置した。</p> <p>要援護者を対象とした避難訓練、福祉施設との協定締結などを進めている。</p> <p>災害時の障害のある人に対応した避難所運営等について検討を進めています。</p>

施策の方向性（５） 所得保障の充実

検証の総括

生活保護制度の実施主体は県であり、今後も県と連携し、同制度の適切な運用を図っていくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
生活保護制度の適切な運用	生活保護制度を主管する県の福祉事務所と連絡会を設けるなど連携を図った。

施策の方向性（６） 住宅の充実

検証の総括

住宅関連の取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。平成 18 年に住宅政策分野におけるはじめての基本法である「住生活基本法」が施行されており、今後も引き続き、良好な住宅環境を維持していくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
町営住宅の維持・管理の徹底	滝の坂住宅 22 戸と平松住宅 15 戸の町営住宅について、手すり設置など、維持管理業務を行った。
住宅資金の利子補給の充実	勤労者の住宅建設の意欲を高め、保持していくために、金利負担の軽減を図る事業を行った。
良好な居住環境の維持	まちづくり条例の主旨に則り、建築物の建築や宅地造成等の開発行為について、公共施設の整備等の指導等を行った。

施策の大綱 2 .いきいきと誰もが健康に暮らすことのできるまちをつくる

施策の方向性（ 1 ） 地域保健活動の充実

検証の総括

平成 24 年度に健康増進計画・食育推進計画を策定し、計画に基づく取り組みを、おおむね順調に推進できました。

次期計画では、昭和 62 年に建設された保健センターの老朽化問題への対応が課題となるほか、成人保健での生活習慣病予防対策、母子保健での育児不安の解消や適切な療育・発達支援、精神保健でのうつ病や自殺予防対策などに対し、地道な取り組みの推進が求められます。また、新型インフルエンザなど新しい感染症について、県や近隣市町村、地元医師会と平素より連携し、緊急時に早期の情報収集や体制の整備がとれるようにすることが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
健康づくり活動の推進	<p>健康教室、食生活改善推進員養成講座、健康相談を開催し運動や食を通じて、町民の健康づくりと食育の推進を図った。</p> <p>平成 24 年度に健康増進計画・食育推進計画を策定し、平成 25 年度以降は実施事業の企画立案について研修会や検討会を開催し、公衆衛生専門家による指導を仰ぎながら、各事業に取り組んでいる。</p> <p>平成 25 年度においては、町内会や自主グループへの出張講座や、老人会の健康福祉祭りの支援など、町民から要請があり業務を行うことが増えた。また、食生活改善推進団体若宮会に定期的に講話を行ったり活動方針について相談にのるなどの団体育成支援業務も増えている。</p>
保健・予防対策の推進	<p>国のがん検診推進事業に基づき、大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診において、特定の年齢の対象者に対して、クーポン券、検診手帳を送付して検診費用を無料にした。肝炎ウイルス検診についても、特定の年齢の対象者に無料受診券を送付した。</p> <p>平成 25 年度から 75 歳以上の高齢者を対象に肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成を開始した。</p> <p>風しんの全国的な流行を受け妊娠を希望する女性や妊婦の配偶者を対象に風しんワクチン接種に対する助成を行った。</p> <p>母子保健事業での各種健診・教室・相談・訪問等を実施した。</p>
在宅ケアの充実	<p>平成 25 年度から逗子・葉山地区医療保健福祉対策協議会において在宅医療について検討し、地元医師会・歯科医師会・薬剤師会と介護保険サービス事業所、行政などの連絡体制づくりの検討を進めている。</p>
保健推進体制の強化	<p>保健センターが、各種保健事業を行う場であるとともに、食生活改善推進団体などの健康増進・食育推進の自主団体の活動の拠点となっている。</p>

施策の方向性（２） 地域医療の充実

検証の総括

逗葉医師会、逗葉歯科医師会の協力により、地域医療が確保されています。医療は県の事務事業であり、町が直接取り組むことは少ないですが、次期計画においても、増大する医療需要等に適切に対応するため、引き続き、関係機関との連携により、一層の充実を図ることが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
地域医療の充実	予防接種や母子健診などを地元医師会の協力により実施している。 医療保健福祉の連携強化については、逗子・葉山地区医療保健福祉対策協議会にて取り組んでいる。
救急医療体制の強化	一次救急は逗葉医師会、逗葉歯科医師会の協力により逗葉地域医療センターで休日等の救急医療を行い、逗子市・葉山町における一次救急体制を確保している。二次救急においては逗葉医師会、横須賀市医師会、三浦市医師会の協力により一次救急で対応できない救急患者に対し救急医療を行い、二次救急医療体制を確保している。
潜在看護師及び保健師等の活用	災害時看護職等ボランティア事前登録制度を実施した。医師、医療機関の確保については、町単独で取り組まなければならないほど、地域の医療事情が切迫していないため、未実施である。
献血の促進	神奈川県横浜赤十字血液センターの協力のもと、葉山ふれあいマーケット、ふるさとひろば、役場駐車場において献血を実施した。

施策の方向性（３） 国民健康保険・後期高齢者（長寿）医療の充実

検証の総括

保険制度運営や、特定健康診査・特定保健指導など保健事業の取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。しかし、特定健康診査の受診率は、国が目標とする60%を大幅に下回っている状況であり、一層の受診の促進が求められます。

また、国民健康保険制度は、平成29年度に財政運営の都道府県単位化が予定されており、それらを踏まえた対応が求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
保健事業の充実	平成24年度に第2次特定健康診査等計画を策定した。 平成25年度から土曜日の集団検診を開始した。 平成25年度から、特定保健指導対象者以外の人や長寿健康診査受診者も気軽に相談できる「健康・栄養相談日」を設定した。
制度の周知・改善	ジェネリック医薬品の差額通知を送付し、そのメリットを伝え利用を促した。 柔道整復師の施術にかかる請求に付き二次審査を委託することで医療費の適正化を行い、支出を削減した。 健康診査の普及啓発、未受診者の受診勧奨を行い、健康の意識を高めた。

施策の方向性（４） 火葬場・墓地の整備

検証の総括

町有地墓地の維持・管理の推進、火葬場の確保ともに、おおむね計画どおり推進できました。引き続き継続実施していくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
町有地墓地の維持・管理の推進	町有地墓地の維持管理については、墓地管理組合の組織強化を図るとともに、適正な維持管理に努めた。
火葬場の確保	火葬場の利用について、必要に応じて近隣市と広域的な連携を図った。

施策の大綱 3 .災害に強く安全なまちをつくる

施策の方向性（ 1 ） 消防・救急体制の確立

検証の総括

消防救急無線デジタル化にむけた準備や、東日本大震災を踏まえた消防機能の強化など、取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。

次期計画においては、他市との指令システム共同運用、各消防車両への AED の配備、消防車両整備計画に基づく車両の更新、装備の充実及び救急救命士の処置範囲の拡大等に対応すべく教育等、消防体制の充実・強化を進めていくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
火災予防体制の強化	広報はやま、町ホームページ等に住宅防火に関する記事を掲載し、町民に対する防火意識の高揚を図るとともに、管内防火対象物及び危険物施設等の立入検査並びに屋外イベント会場における屋台等に対し、火災予防指導を実施した。
消防組織の強化・充実	消防職員数の増員により組織の強化を図り、併せて定数条例の改正を行った。また、東日本大震災を踏まえた、「消防団 震災時における安全管理マニュアル」を策定し、大規模災害時における消防団活動の安全確保と組織の充実を図った。
消防施設の整備・充実	消防救急無線デジタル化にむけた準備を進めてきた。平成 26 年度は、活動波整備を開始予定、また共通波は整備完了予定である。 近隣市との指令業務共同化の検討を進めてきたが、実現には至っていない。
救急救助体制の強化・充実	救急救命士再教育病院実習、消防大学の幹部科・救助科教育、その他各種研修会や訓練に参加して知識・技術の向上を図った。 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を平成 26 年度の救急 2 号車更新時に導入予定である。この資格取得も進めている。 普通救命講習会を毎月 1 回実施して住民への応急手当の普及を図った。 救助工作車のクレーン・ウインチ・照明が装備された 型への更新（平成 24 年度）など、車両の更新を進めた。 横須賀市立うわまち病院ドクターカー出場協定を締結した。

施策の方向性（２） 防災体制の確立

検証の総括

東日本大震災を受け、地域防災計画の改訂、津波避難経路の整備、小中学校の耐震化工事、原子力災害対策など、ハード・ソフト両面から防災対策を強化してきました。

次期計画では、改訂版地域防災計画を受けた施策・事業を盛り込み、首都直下型地震対策や近年多発する風水害への対応を強化していく必要があります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
自然災害への対応	東日本大震災を受け、葉山町地震等減災委員会の立ち上げ、地域防災計画の改訂、津波ハザードマップ、防災ガイドブックの作成などを実施した。 逗子・葉山地区医療保健福祉対策協議会で災害時の協定を締結し、作成した「逗子・葉山地区災害時医療救護ガイドライン」に基づき、医療資器材の整備や研修会の実施などを行った。 耐震無料相談会を年３回程度開催。また、診断、工事費用の一部補助を実施した。
情報伝達ルートの確立	防災行政無線の再整備を進めた。 情報伝達手段としてツイッターの活用を図った。
避難場所の見直しと防災資機材や食糧の備蓄	LEDソーラーポイントライト、海拔表示板等の設置など、津波避難経路の整備を進めた。 防災訓練や防災ガイドブック等を通じ、各家庭の食糧備蓄の啓発を行った。
崖地対策	イエローゾーン指定に係る説明会やホームページ等での周知を実施した。
自主防災組織等の活動の活性化	自主防災組織の備蓄資機材の購入費補助を実施した。 女性防火防災クラブ員への各種訓練（救命、炊出し、ポン取り扱い等）を実施した。
ライフラインの確保	ライフラインの確保に関し、災害時各種応援協定を締結した。
災害廃棄物処理体制の整備	横須賀三浦地域における一般廃棄物の処理に関する災害時等相互援助協定書に基づく応援協定を結んでいる。
耐震補強工事の充実	平成 25 年度に、一色小学校新館の耐震改修工事を行った。平成 26 年度は、小中学校の屋内運動場天井等非構造部材の耐震化工事の実施設計を行う。
災害時要援護者への支援体制	災害時要援護者マニュアルの策定・運用、災害時要援護者支援用品の購入、災害時要援護者支援システムの導入などを進めた。
放射性物質への対応	放射線簡易測定器による測定及び結果公表、放射線簡易測定器の貸出、ヨウ化カリウム丸の備蓄管理を実施した。

施策の方向性（３） 交通安全対策の確立

検証の総括

交通安全施設の設置、維持管理・修繕など、計画した取り組みは、おおむね推進できました。引き続き継続実施していくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
道路交通環境の整備	必要に応じて車止めポール等の交通安全施設の設置、維持管理・修繕を行った。
交通安全教育の充実	交通安全キャンペーンなどの機を通じ、啓発を行った。
交通事故等の相談の充実	法律相談や行政書士相談など、相談者のニーズにそった相談窓口の紹介・案内を行った。

施策の方向性（４） 防犯体制の確立

検証の総括

街路灯のLED化など、計画した取り組みは、おおむね推進できました。引き続き継続実施していくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
防犯環境の整備・充実	町内に3700余の街路灯が設置されており、それらの維持管理を行いながら一部LED化を進めた。
防犯体制の充実	犯罪の未然防止のため、青パトによる町内巡回、町内会や防犯協会など各種団体の協力による防犯活動を行った。

施策の方向性（５） 消費生活の安全の確立

検証の総括

相談窓口の充実など、計画した取り組みは、おおむね推進できました。引き続き継続実施していくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
悪質商法による被害の防止・消費生活相談の充実	消費者基本法が施行されたことに伴い、国からの基金を活用し、相談窓口の充実、職員等のレベルアップを図った。

基本目標 住民が参加する自治のまち

施策の大綱 1. コミュニティをつくる

施策の方向性 (1) 地域活動の活発化と連携の促進

検証の総括

町は持ち家比率が高いこともあり、町内会・自治会の活動は活発であります。しかし、未加入者も多いことから、引き続き加入を促進していく必要があります。また、町内会館・自治会館の修繕等を公共施設修繕計画に基づいて実施することが必要となってきました。

公共交通については、バスの便数や路線網、バス停の充実などにより、利用を促進していくことが求められます。

主要施策の推進状況

(〇 は実施、 × は未実施・一部実施)

主要施策	推進状況
コミュニティ活動の基盤づくり	町内会館・自治会館を、地元の町内会・自治会が指定管理者として維持管理を行った。施設の修繕は、指定管理者と調整を行い実施している。
コミュニティ活動への支援	町内会や自治会の活動を支援するため、補助金等を支出した。
公共交通システムの検討	返子駅等への自家用車による送迎からバス利用への転換の促進が課題である。京急バス(株)に対し、木古庭、上山口方面へのバス便の増発や同方面への最終バス便の繰り下げ、山手から海岸、海岸から山手への8の字運行、バス停への屋根やベンチ設置の要望を実施した。 三浦半島3市1町で構成する協議会を設置し、ノンステップバス、PTPS公共交通システムを関係機関に要望するとともに、バスロケーションシステムの導入に向けた検討を開始している。

施策の方向性 (2) 平和の推進

検証の総括

平和推進に関する取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。引き続き継続実施していくことが求められます。

主要施策の推進状況

(〇 は実施、 × は未実施・一部実施)

主要施策	推進状況
非核平和運動の推進	平成24年度に平和市長会議(平和首長会議)に加盟した。 県内非核宣言自治体連絡会議に参加した。
平和教育の推進	平和標語コンクールを実施した。 各学校では、道徳や特活の年間計画の中に平和教育がもりこまれている。また、小学校において、「戦争体験を語る会」を教育研究所の協力の下、毎年開催。中学校においては、広島への修学旅行が実施されている。
町民への啓発活動の推進	非核平和行進、非核平和マラソンへの支援を行った。 役場庁舎に啓発用の懸垂幕を掲示した。

施策の大綱 2 .町民と行政の協力関係をつくる

施策の方向性（ 1 ） 広報・広聴活動の充実

検証の総括

広報・広聴関連施策は、おおむね計画どおり推進できました。一点、広報の配布漏れが課題としてあげられます。

次期計画では、広報の企画・編集に関する住民との協働推進、ツイッターやフェイスブックなど様々な媒体を活用した情報提供、多様化する町民の相談・要望に対応可能な相談窓口の強化などが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
広報紙の内容充実	広報はやまにカラーページを設けた。毎号 2 から 8 ページ程度の特集記事を企画した。有料の広告スペースを拡大した。 各戸配布の確実性が課題。配布漏れを完全に防ぐのが困難な状況にある。
広聴活動の充実	「町への提案」や「町長と葉山のはなし」を開催した。
さまざまな情報媒体の活用	ホームページ、湘南ビーチ F M、広報板を利用し情報提供を図った。また、ホームページのリニューアルを平成 26 年度に実施する。
相談活動の充実	窓口相談のほか、各種専門相談を開設した。

施策の方向性（ 2 ） 情報公開の推進

検証の総括

情報公開関連施策は、おおむね計画どおり推進できました。引き続き継続実施していくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
情報公開の運用の充実・情報公開の庁内体制の充実	葉山町情報公開事務取扱要領を改正した。要領は、各課が自由に閲覧できる状態でデジタルデータを保管し、庁内での情報共有を図った。 県・市町村の情報公開制度、個人情報保護制度の研究会に参加し、研究に努めた。 情報公開審査会、個人情報保護審査会を開催した。

施策の方向性（３） 町民参加・参画の推進

検証の総括

町民活動団体と行政との協働事業、パブリックコメント手続など、町民参加・参画の推進をめざす取り組みを進め、一定の成果を得ました。

次期計画では、町全体として協働推進の考え方（指針）、運用のしくみ（システム）を構築し、実行していくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
住民と行政による協働のまちづくりの推進	町民活動団体と行政との協働の取り組みとして、各小学校への授業協力や各中学校での体験学習（町民活動団体との体験学習を通して生徒が町の良いところを実感しつつ、町への愛着心の芽を育む）などに取り組んだ。（再掲）
町民が意見を述べる機会の拡充	平成 20 年からパブリックコメント手続を開始。平成 24 年度 3 件、平成 25 年度 2 件、平成 20 年度以降で計 23 件を実施した。
町民の意向の実現	平成 25 年度に次期総合計画の策定過程において、無作為抽出で選ばれた町民 50 人が行政課題等について議論する手法（町民ワーキンググループ）を初めて取り入れた。

施策の大綱 3 .効率的な行財政運営を図る

施策の方向性（ 1 ） 行政組織の簡素化・効率化と人材育成

検証の総括

機構改革の検討、人事評価制度の試行、情報システムの充実など、行政組織の簡素化・効率化と人材育成に関する取り組みは、一定の成果を得ました。総合計画のPDCAサイクルによる進行管理、行政改革に関する検討、人事評価制度の本格導入などが積み残しの課題です。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
計画の適切な進行管理	第三次葉山町総合計画後期基本計画の進捗状況の各課による振り返りを行った。PDCAが確立された体系的な進行管理は次期計画策定における課題である。
行政組織の整備	庁内会議規程を見直し、部長会議を月2回開催している。また、課長会議にワーキンググループを設置し、懸案事項等を検討している。 葉山町機構改革職員検討委員会を設置し、機構改革の検討を行っている。 行政改革に関する検討が、現在、休止状態である。
人材育成の充実	民間企業等派遣研修(横浜銀行)を実現させた。 三浦半島サミットで議題となった4市1町職員の合同研修及び人事交流に着手。また、人事評価制度の試行を開始した。人事評価制度の本格導入が未実施である。
効率的な事務事業の運営	インターネットに接続できるパソコンの数を増しグループウェア等利用できるよう努め、セキュリティに関する機器の更新を行った。 システム共同化では、コンビニ公金収納開始により住民サービス向上を図り、財務会計システム共同化利用の準備に取り組んでいる。
公有財産の適切な管理	公有財産の取得・処分に関して、各課等と横断的・総合的な調整を図り、不用品を処分する際に公有財産売却システムを活用することにより効率的な売却処分を行った。公有財産の適正な維持管理を図るために、台帳の整備等を行った。

施策の方向性（ 2 ） 健全な財政運営の推進

検証の総括

健全な財政運営を維持する取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。
次期計画では、行政評価システムの確立と予算への反映、特別会計を含めた連結ベースによる財務諸表の作成などに取り組んでいくことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
歳入の確保	税や保険料の収納対策強化（非常勤職員の配置、コンビニ収納やペイジー口座振替等納付環境の整備）を実施している。 新たな広告媒体の開拓（公用封筒）を行った。

効果的・効率的な財政運営	職員給与費の抑制（初任給見直し、定率削減等）を図った。 今後、増大が予測される町施設の維持補修等に備え、一定の基金残高を確保した。 横浜方式プライマリーバランスを維持し、町債残高を着実に減少させた。
財政の健全化	中期財政見通しを策定し、中長期的な視点に立った計画的な財政運営に努めた。 新たな公会計基準に基づく財務諸表の作成・公表を行っている。

施策の方向性（３） 地域連携を図った行政運営の推進

検証の総括

町では、広域的に共通する課題等について、県、他自治体と連携し、一定の推進を図ってきました。

次期計画では、町域を越えた広域的な課題について、引き続き県、他自治体との連携を深め、各種計画、事業の推進等、共通課題への解決に努めていく必要があります。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
地域連携・調整の強化と整備	L GWAN（総合行政情報システム）について、平成 25 年度に機器更新を行った。 共同利用の電子申請システムについて、手続きの対象を増やし、利便性の向上、利用率の向上に取り組み、成果が出ている。 近隣市との公共施設ストックの有効利用を図る観点から、公共施設白書の策定を進めた。今後、地域連携を念頭においた町における公共施設の整備・更新計画の策定を想定している。

施策の方向性（４） 地方分権の推進

検証の総括

地方分権の推進について、計画では、要望活動や研究などの施策を掲げ、それらの取り組みは、おおむね計画どおり推進できました。

平成 23 年から平成 25 年にかけて、地方分権改革に係る一括法が段階的に制定され、国による義務付け・枠付けの大幅見直しがなされており、次期計画では、国・県の多くの事務事業の移譲を受けることを想定した施策構築を行うことが求められます。

主要施策の推進状況

（ は実施、 は未実施・一部実施）

主要施策	推進状況
分権型の行財政関係の構築	町では、町村会を通じて県へは「地方分権の一層の推進」を、国へは「真の地方分権型社会の実現」の要望活動を行っている。
分権への主体的取り組み	神奈川県市長会と神奈川県町村会が共同設置している神奈川県市町村新地方分権行政研究協議会主催による「地方分権に関する研修会」に出席し、地方分権に関する動向や自治体の取り組み事例などの習得に努めた。

第3章 成果指標の検証

成果指標の平成26年度目標と直近の値を表にしたものは以下のとおりです。

「18 生涯学習ボランティア登録者数」のように、逡増または横ばいで推移しているものの、目標値が高いため、未達成というものが多傾向にあります。

通番	指標名	単位	平成22年度実績 (計画策定時)	平成26年度目標	直近の値 (調査時期)
1	緑地面積	ha	-	37.0	37.0
2	緑地保全契約面積	ha	4.4	4.4	4.4
3	アライグマ捕獲数	頭	95	地域からの排除	114
4	タイワンリス捕獲数	頭	1,089	地域からの排除	1,155
5	ドッグヤード利用登録数	件	291	400	270
6	橋りょう長寿命化のための橋りょう点検実施率	%	0	100.0	100.0
7	長寿命化修繕計画の策定		未策定	策定	策定
8	ナチュラルリザーブの清掃に参加する団体数	団体	2	4	2
9	クリーン葉山参加者数	人	480	600	520
10	水洗化率	%	84.7	88.0	87.8
11	温室効果ガス排出量	kg-CO2	5,818,255	5,701,318	2,760,423
12	エネルギー使用量	kl	1,914	1,661	1,629
13	NPO法人葉山まちづくり協会登録団体数	団体	31	35	33
14	草津町文化展作品出品数	点	30	30	30
15	草津町とのスポーツ交流参加団体数	団体	2	4	2
16	湘南国際村フェスティバルの参加者数	人	48,000	50,000	36,000
17	町民大学受講者数	人	100	100	90
18	生涯学習ボランティア登録者数	人/団体	15/25	30/90	31/65
19	所蔵美術展開催数	回	年2回	年4回	年4回
20	指定文化財指定件数	件	64	66	64
21	自主事業音楽・芸能等公演	回	年0回	年2回	年2回
22	ヨットスクール受講者数	人	38	40	37
23	小学校プール利用者数(夏季期間中)	人	2,000	2,000	1,670
24	認定農業者数	人	3	3	4
25	新規特産物の開発	品種	0	2	0
26	海水浴場利用者数(7・8月)	人	137,118	140,000	96,624
27	観光イベントの来場者数	人	56,550	60,000	52,500
28	つどいの広場設置数	か所	1	6	1
29	通常保育の設置数及び定員	か所/人	2/185	2/210	2/185
30	延長保育の設置数及び時間	か所・時	認可2ヶ所 19時まで	認可2ヶ所 20時まで	認可2ヶ所 19時まで
31	高齢者福祉施策について満足している町民の割合	%	49.3%	53.0%	76.5
32	障害者(児)福祉施策について満足している町民の割合	%	48.6%	52.0%	80.2
33	町営住宅入居率	%	100.0	100.0	100.0
34	がん検診受診者数	人	4,169	7,000	3,936
35	歯周疾患検診受診者数	人	81	100	54

36	国民健康保険料の口座振替率	%	40.0	60.0	45.8
37	消防団員の確保	-	184人 (充足率 92.9%)	198人 (充足率 100.0%)	187人 (充足率 94.4%)
38	津波ハザードマップの見直し	-	検討中	完成	完成
39	地域防災計画の見直し	-	検討中	完成	完成
40	土砂災害ハザードマップ作成	-	検討中	完成	検討中
41	交通事故発生状況	件	140	0	113
42	刑法犯認知件数	件	129	0	130
43	ビッグハマ・マーケット来場者数	人	12,000	15,000	13,000
44	ふるさとひろば来場者数	人	31,750 (平成21年度)	32,000	30,000
45	非核平和標語コンクールへ応募する 作品総数	点	61	100	28
46	町ホームページのアクセス数	件	414,073	500,000	268,228
47	情報公開請求件数	件	30	25	24
48	不服申し立て件数	件	2	0	1
49	まちづくり館の入場者数	人	2,779	3,000	3,195
50	庁内事務OA化の進捗率	%	69.3	78.0	71.6
51	庁内グループウェアの構築	グルー プ	2	3	15
52	近隣市との連携による効率的な行政 サービスに満足している町民の割合	%	50.7	54.0	63.8
53	自主的・主体的なまちづくりが推進 されていると感じる町民の割合	%	55.1	59.0	63.8